

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
CG映像科											
デジタル演習9											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	演習	時間数	60	単位	2
担当教員	小嶋			実務 経験	有	職種	CGデザイナー				
授業概要											
2年次後期の制作実習の結果を踏まえ、プロジェクトワーク8の内容である3年次前期の制作サポート、および進捗管理を行う。実習の進行は、前期プロジェクトワーク8に準ずるものとする。制作は、個人、グループのどちらでも可とし、グループ編成については途中参加や統合など、柔軟に対応する。作品制作と並行し、学生の作品レベルに合わせて個別の技術的指導を実施する。											
到達目標											
・個人、またはグループにて、実際の就職活動に使用する作品を完成させる。・学生個々のスキル、進路に応じて企画立案を行い、それぞれの特性に合わせ、作品のジャンルを設定することができるようになる。※学生個人、グループにて想定される作品ジャンルは、以下のとおり。2Dグラフィックス、3Dグラフィックス、モーショングラフィックス、CG映像。											
授業方法											
2年次作品の講評にて、各自の課題を確認しつつ、企画立案～プレビス制作～企画チェック～作品制作～中間講評による課題確認～作品の仕上げと、現場と同等の作品制作の一連のプロセスを経て、就職活動に対応可能な作品を完成させる。映像編集、映像合成、VFXの技術レクチャーについては、各作品に必要な技術が習得できるよう、学生個人の選択制とする。											
成績評価方法											
試験・課題：50%課題作品が各自の企画通りに出来ているか、実習内の技術が正確に反映されているかで評価する。成果発表（口頭・実技）：30% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。平常点：20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
企画チェック、中間講評にて進捗および作品制作の注意点を明確化し、作品完成までの目標がぶれない様、注意する。出席が授業時限数の3/4を下回る場合、試験を受験する事はできない。											
教科書教材											
教材データは毎回配布、使用ソフトウェアはその都度指示											
回数	授業計画										
第1回	2年次作品講評:2年次作品の仕上がり確認と各自の完成目標の理解										
第2回	企画立案1:前期作品の企画出しを行う										
第3回	企画立案2:前回の企画出しを基に、制作企画資料の作成を開始する										

第4回	企画立案3:制作企画資料を完成させる
第5回	制作進捗確認日1(全体):作品企画チェックを実施、各自の完成期日、作業予定を確立□
第6回	作品制作1:企画チェックの内容をフィードバックし、作品制作の方向性を決定する□
第7回	作品制作2:前週までの進捗を確認しつつ、プレビズの制作を開始する
第8回	作品制作3:前週までの進捗を確認しつつ、プレビズの制作を進行する□
第9回	作品制作4:プレビズの進捗を確認しつつ、本データ制作予定を確立する□
第10回	制作進捗確認日2(全体):前期作品の進行確認の為、各グループ、個人の制作進行資料を完成、提出する
第11回	作品制作5:これまでの制作データによる、就職活動用のデモリール制作を開始する
第12回	作品制作6:デモリール、プレビズの発表と評価を行う
第13回	作品制作7:夏季休暇中の制作進行予定を立案する
第14回	作品制作8:夏季休暇中の制作物を反映、作品データの仕上げを行う
第15回	最終講評:前回までで制作された作品、データの講評を行う